

第2フェーズに関する再確認事項（一般、Web入力社向け）

2018年3月23日
日本出版インフラセンター
出版情報登録センター

出版情報登録センター第2フェーズの開始にあたり、再度ご確認いただきたい事項をまとめました。ご一読いただければ幸いです。

1. 情報提供社入力フローについて

第2フェーズでは取次広報誌への入稿期日や書店の事前注文に合わせ、発売2~3カ月前から出版情報を順次登録していきます。別紙1に推奨される情報登録のフローを示します。また、登録情報の修正が発生した場合は、発売後も修正情報の登録・追記を行ってください。

2. Web入力画面の切り替えについて

ファイル送受信では並行運用期間が約6か月間ありますが、Web入力画面には並行運用期間がありません。第2フェーズの切り替え以降、新しいWeb入力画面のみが使用できます。

3. 第2フェーズの対象商品について

第2フェーズのスタート時点での対象商品は、現在と同様にISBNあるいはJP e-codeが付与された書籍となります。第2フェーズで追加された雑誌等に関する以下の項目は、雑誌扱いコミックスやムックなど、ISBNと雑誌コードの両方を持つ商品の場合に情報をセットしてください。

【ISBNと雑誌コードの両方を持つ商品用の追加入力項目】

新項番		項目
21	基本書誌情報	JANコード（13桁 雑誌）
23		雑誌コード（コミックス）
24		刊行形態（週刊・月刊等）
102	仕入情報	取次搬入予定日（AM/PM） ※定期誌
103		返品期限・L表記 ※増刊・別冊
104		綴じ ※定期誌
105		帯（ムック）
106		カバー（ムック）
110		結束種類（シングル・ダブル） 定期誌

4. 書影の登録について

書影は1商品につき3ファイルまで登録できます。書影ファイルの解像度は72dpi、大きさは高さ・幅ともに500pixels以上を推奨します。

5. 受信ファイル形式並びに保存フォルダについて

1日2回の統合処理では、最新の全件ファイル並びに、前回の統合処理以降に登録された出版情報のみを保存した差分ファイルを作成します。各ファイルには、情報提供社が登録した近刊情報と更新された既刊情報の両方が含まれます。また、各ファイルは受信利用者の属性ごとに作成し、属性ごとに準備されたフォルダに保存されます。情報受信社は各社の処理に合わせて全件ファイルあるいは差分ファイルを受信できます。差分ファイルについては1週間分受信可能です。

書影については、全件ファイルで提供されている商品の全書影を保存しているフォルダと提供された日によって画像を整理したフォルダがあります。差分フォルダは過去1週間分です。

《別紙1》登録出版社入力フロー図

